

小委員会名	インフラ PFI 研究小委員会	
テーマ名	(1)リスクを考慮した経済・財務・ファイナンス総括表による分析 (2)ベストパートナーシップガイドラインの作成 (3)市域道路ネットワークの修繕・維持管理 PFI 事業の具体化へ向けて	
①研究目的	(1)インフラストラクチャ事業の原点に戻り、経済分析、財務分析、ファイナンス分析、財政支出分析を統合して分析することにより、プロジェクトの基本スキームを構成するための方法論を構築すること。 (2)日本のPFI事業において発生している紛争問題に関して、①それらの紛争が発生している原因②紛争が発生しないための防止策③紛争が発生した場合の解決策④長期の運営段階でその解決策を形骸化させないための方策を整理・検討し、ガイドラインの作成を試みる。 (3) 今後増大する既存道路の維持管理・修繕ニーズに対して、PFI方式の適用可能性の検討、課題の整理を行う。具体的には、市域の全部または一部の道路ネットワークを対象にして、PFI事業者が資金調達、修繕工事を行い、その後一定期間維持管理業務を行うモデル事業を想定し、官民の役割・リスク分担、VFM検討、性能規定のあり方、契約プロセス等について検討する。	
②成果概要	<p>●中間</p> <p>○最終 (該当に●)</p> <p>(1)費用便益分析の一つのツールとして提案されている便益帰着連関表を拡張することにより、事業に関連するステークホルダー間の諸活動を経済項目と財務項目の視点から包括的に捉える連関表を作成する。事業スキームの操作可能なパラメーターと外的条件に関して特定する。その条件下での各活動におけるフローに関しての計測方法を構築する。具体的な仮想事業を設定し、そのもとでの事業スキームの検討を行うことにより、実用的な方法に整備していく。このうち、基本モデルに関しては既に構築済みである。最終的には、今後最も実現可能性が高いと思われる独立採算事業部分とサービス購入型事業部分を組み合わせる合併施工型事業に提供しそのスキーム構成のあり方に関して提言する。</p> <p>(2)報告書の構成として【序論】1.ベストパートナーシップの必要性、2.ベストパートナーシップを確立するための各主体を取り巻く課題、2-1 要求水準に関する課題、2-3 提案書の記載方法に関する課題、2-3 仕様変更に関する課題、【本論】1.ガイドラインの目的、2.紛争の未然防止のための方策、2-1 可能性調査段階、2-2 実施方針の公表&官民対話段階、2-3 公募段階、2-4 契約段階、2-5 設計施工段階、2-6 維持管理段階、2-7 契約満了時段階、3.紛争解決のための方策、4.ベストパートナーシップを形骸化させないために、5.関係法令、を作成した。更に各主体を取り巻く課題整理のため、PFI事業の各方面関係者へのヒアリングを実施している。</p> <p>(3)本テーマについては当研究小委員会として、国土交通省が実施した「新たなPPP・PFI提案」募集へ応募提案している(11月末提出)。また、公物管理の観点からの事業者の行い得る業務範囲、検討課題、参考となる英国ポーツマス事業等について整理し、成果を昨年末の第28回建設マネジメント問題に関する研究発・討論会に、「道路維持管理修繕PFI/PPP事業の導入可能性についての考察」として論文投稿、発表している。今回、新たに部会テーマとして選定、モデル事業を想定し、より具体的な検討を行う予定である。</p>	
③研究期間 進捗度	2010年4月～2012年3月(研究開始から11年目) ○予定より進んでいる ●ほぼ予定どおり ○予定より遅れ気味(該当に●)	
④研究体制	小委員長	宮本 和明(東京都市大学)
	副小委員長	大島邦彦(熊谷組)、渡会英明(建設技術研究所)
	主要メンバー	北詰恵一(関西大学)、長谷川専(三菱総研)、内藤誠司(パシフィックコンサルタンツ)、小石川隆太(日本アジアグループ)、佐藤良一(鹿島建設)、佐藤有希也(長大)、石川崇之(パシフィックコンサルタンツ)、大西正光(京都大学)、金子雄一郎(日本大学)、越川裕司(八千代エンジニアリング)、後藤忠博(オリエンタルコンサルタンツ)、小路泰広(国土交通省)、高木智(大日コンサルタンツ)、森 浩(三菱総研)、山岸宏(NIPPO コーポレーション)、井上元(五洋建設)、植田和男(日本PFI協会)、佐藤喜久(鹿島道路)、村松和也(大日本コンサルタント)、長岡宏樹(三菱総研)、森正樹(中電技術コンサルタント)、板垣晋(オリエンタルコンサルタンツ)、町田裕彦(インターリスク総研)、中川裕明(NEXCO 東日本)、七五三野茂(NEXCO 総研)
	小委員会委員数	31名

⑤発表実績	<p>(1) 国土交通省が募集した「新たな PPP/PFI 事業」に提案を 3 件提出した。</p> <ul style="list-style-type: none">・ PFI 手法が適切と思われる道路事業の実施・ 市域道路ネットワークの修繕・維持管理 PFI 事業 (モデル事業)・ 体系的リスク分析とマネジメント実施のルール化 <p>(2) 成果研究発表会</p> <ul style="list-style-type: none">・ 前期研究成果について発表した。 <p>(3) 建設マネジメント研究発表会</p> <ul style="list-style-type: none">・ 大島邦彦:道路維持管理修繕 PFI/PPP 事業の導入可能性についての考察・ 渡会英明: PFI 事業における VFM の再定義・ 後藤忠博: 公共事業における事業リスクマネジメント手法に関する検討
-------	---